

- ・精神身体合併症病棟の開設
- ・地域連携研修会の報告と次回予告

NEW

精神身体合併症病棟を 開設しました

平素より、当院との医療連携に関してご理解とご協力をいただきありがとうございます。当院では本年11月1日に精神身体合併症病棟(閉鎖4床)を開棟いたしました。

当院は山梨県の基幹病院として各診療分野において高度専門的医療を行っております。県内唯一の高度救急救命センターを有しているため重症及び複数の診療科領域にわたる重篤な救急患者さんを24時間体制で受け入れる三次救急医療を担っており、甲府・中巨摩地域の二次救急当番病院としての時間外診療も行ってまいります。

近年、職場でのうつ病や高齢化に伴う認知症などの精神疾患の患者数が年々増加しており、厚生労働省が2013年度から医療計画へ新たに精神疾患を加えて「5疾病5事業」の取り組みを開始するなど、これへの迅速かつ適切な対応が不可欠となっております。上記のような病院機能により当院でも、精神疾患がある、または精神症状が出現している状態で、身体疾患に対する救命救急での治療が必要となった患者さんへの対応が重要な役割となっております。これまで全国的に身体疾患と精神疾患を合併した患者さんへの医療体制は十分ではなく、長い間の懸案事項となっております。当院でも精神科病床が設置されていなかったことから、精神科での十分な入院治療を受けていただくことは困難な状況でした。そこで今回開棟しました精神身体合併症病棟においては、当院高度救急救命センターへ入院された患者さんで身体科、精神科の双方において入院治療が必要となった方を対象に、各診療分野のさらなる連携によりこれまで以上に良質な医療を提供できるものと考えております。

今後も、身体科、精神科、のいずれにおきましても地域の先生方や、住民の皆様方に信頼していただける病院となるよう精神身体合併症病棟スタッフ一同で精進してまいります。いと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

精神科
内科系第二診療
統括部長

渡辺 剛



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

患者支援センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1

TEL.(直通)055-253-9000/FAX.(直通)055-251-7733

Topics

緩和ケア の紹介

Palliative care

自分らしく生活していただくために 患者さんに寄り添いサポートします

山梨県立中央病院では平成17年度に緩和ケア病棟を開設し、がん治療が困難となったがん患者さんに対して専門的緩和ケアを提供してきました。その後がん医療の充実とともにがん患者さんの治療・療養生活の質の向上のために緩和ケアセンター、がん相談支援センターを設置しています。

今回これら2つのセンターと緩和ケア病棟による当院の
がん患者さんの支援体制について紹介します。

緩和ケア センター

- 緩和ケアチーム(入院患者)
- 緩和ケア科外来
- がん看護外来
- 地域窓口(電話相談等)
- 勉強会開催(医療者・市民)

がん相談 支援センター

- 一般的ながん情報、療養上の不安、セカンドオピニオン、就労問題、妊孕性、ゲノム医療 など
- ピアサポート

緩和ケア 病棟

- 専門スタッフチームによる全人的医療

CHECK
1

緩和ケアセンター Palliative care center

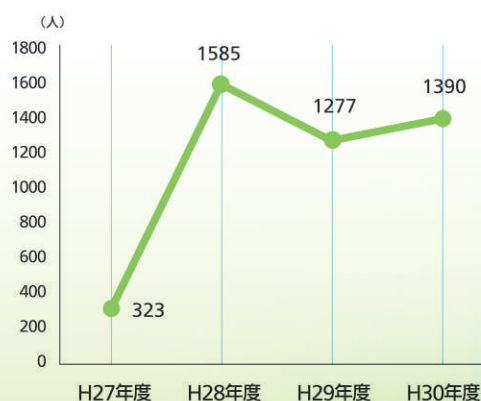
当院では緩和ケアのニーズが高まり、病期に関係なくがんと診断されたすべての患者さんに緩和ケアを提供できるような体制を整えるべく緩和ケアセンターを平成27年度に開設しました。

緩和ケアセンターは緩和ケア科医師2名(阿部文明、許山美和)のほかに4人の看護師(うち2名は緩和ケア認定看護師)が配置されています。主治医からの依頼により、外来通院患者さん、一般病棟入院患者さんに対してそれぞれ「緩和ケア科外来」「緩和ケアチーム」で心身の症状緩和を図るほか、充実した看護体制のもと平成27年度より「がん看護外来」を開始しました。

がん看護外来はがん診療医の外来や告知などの病状説明に同席し、その後患者さん・家族の不安や心配事を聞きカウンセリングを継続的に行っています。

またセンターは地域緩和ケアの窓口として在宅医療・介護関係者からの電話相談や、より多くの患者さんに緩和ケアを広めるべく医療・介護従事者への緩和ケア勉強会の主催・協力、一般市民への講演会も行っています。

当院通院患者さんの相談に限らず、お困りのことがあれば些細なことでも緩和ケアセンターにご相談ください。



がん看護外来「のべ面談数」

CHECK
2

がん相談支援センター Cancer consultation support center

がん相談支援センターはがん診断後に誰でもどんな相談でも気軽に相談できる場所として全国のがん診療連携拠点病院に設置されています。当院は看護師2名と兼任で患者支援センターの多職種のスタッフが相談員として対応しています。

がん相談支援センターではがんの一般的な情報提供(標準的治療・副作用等)、療養上の悩み相談、セカンドオピニオン、地域の医療機関の情報提供にとどまらず、近年は就労問題、^{妊孕性}、ゲノム医療といった専門性の高い相談も増加しています。相談後、必要があれば主治医との橋渡しを行ったり、緩和ケア科外来やがん看護外来、患者支援センターあるいはそれぞれの専門家への紹介することもあります。また体験者の話を聞きたいという方には研修を受けたがん体験者(ピアサポーター)による面談も調整しています。

相談員となるスタッフは、専門性の高い相談内容に対応するために国立がん研究センター等の相談員研修を定期的に受講してブラッシュアップを図り、個々の相談にあった適切な支援を目指しています。緩和ケアセンター同様に、地域、他院からの相談も受付けておりますので是非ご利用ください。

CHECK
3

緩和ケア病棟 Palliative care ward

緩和ケア病棟は平成17年度に開棟、平成30年度までの14年間に2,135名のがん患者さんが入院されました。近年の状況は年間入院患者さん約170名、平均年齢71歳、原疾患は肺癌に次いで膵癌・大腸癌が多く、平均在院日数24~28日となっています。さらに特徴は当院緩和ケア科外来通院中の患者さんあるいは在宅医との連携患者さんが症状悪化時に入院できる緊急ベッドを1床用意しているため、入院患者さんの約30%は緊急(即日)入院です。全国の緩和ケア病棟遺族調査(J-HOPE研究/日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団)で当院は「ケア全般の満足度97%」「適切な時期に入院できた94%」など全国平均を上回る評価をいただきました。

これからも緩和ケア科ではがん患者さんの療養生活のQOL向上とともにご自宅での療養を支援するために、早い段階から緩和ケア科外来や緩和ケアチームが通院・一般病棟で症状緩和に努め、困ったときには緩和ケア病棟に入院できるような切れ目のない体制を整えていきたいと思っております。

緩和ケア関連勉強会の
ご案内

e-learning受講 + 要事前申込

2019年 第4回

【山梨県緩和ケア研修会】

2019

日時: 12月22日(日)
9:00~17:10場所: 山梨県立中央病院
2F 多目的ホール

当日参加可

山梨県立中央病院

【第3回 緩和ケア勉強会】

2020

日時: 3月5日(木)
18:00~19:00場所: 山梨県立中央病院
2F 看護研修室講師: 国立がん研究センター
精神腫瘍科 清水 研 先生(予定)がん
相談窓口

山梨県立中央病院 TEL. 055-253-7111(代)

緩和ケアセンター 内線 3906 師 長 天野

がん相談支援センター 内線 3912 専任看護師 小林

2019
地域連携
研修会

9.27 FRI

「骨粗鬆症患者における病診連携
—骨密度検査機器の共同利用について—」



令和元年9月27日(金)、当院の整形外科・千野孔三先生により「骨粗鬆症患者における病診連携—骨密度検査機器の共同利用について—」についての講演を行いました。

院内外合わせて23名の方のご参加があり、参加者からは、患者への介入がとても大事であり、骨粗しょう症の基礎から治療法、

現状の問題点、今後の展望と有用性が学べたという意見をいただきました。また、多くの方から活発な意見交換や質問をいただき、とても有意義な研修会となりました。



10.31 THU

「日常診療に潜む内分泌疾患」

令和元年10月31日(木)、当院の糖尿病内分泌内科・祢津昌広医師により「日常診療に潜む内分泌疾患」についての講演を行いました。

院内外合わせて25名の方の参加があり、高血圧をはじめとした種々の症候が引き起こす原発性アルドステロン症や先端巨大症などの専門的な内容でしたが、「実際の診断・検査・治療の流れがよく理解できた」、「専門分野ではない疾患の講演で勉強になりました」という意見をいただきました。多くの方から活発な意見交換や質問をいただき、とても有意義な研修会となりました。



当患者支援センターでは院内・院外に向けた連携のための研修会を今後も定期的に開催していきたいと考えております。その都度ご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。

地域連携研修会が
開催されました

次回研修会

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール
甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

第160回

山梨周産期医療懇話会

2019
日時：12月12日(木) / 18:30~20:10

【一般演題】 18:30~19:00

『2019年度 山梨県RSVサーベイランス(中間報告)』

演者：山梨県立中央病院 新生児内科 前林祐樹 先生

【特別演題】 19:00~20:10

『新生児医療のその後を支える』

演者：青森県立中央病院 産科 部長 網塚貴介 先生

災害時における地域連携

～2019年台風19号DMAT活動報告から～

2020
日時：1月22日(水) / 19:00~20:00

座長：山梨県立中央病院 高度救命救急センター 岩瀬史明

山梨県立中央病院DMAT隊員

(医師、看護師、業務調整員)それぞれの立場から発表

研修会の情報はホームページでもご案内しています。
併せてご覧ください。

<http://www.ych.pref.yamanashi.jp/>

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、
かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。
体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。
紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの
医院を受診

紹介状をもらって
ください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く)

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

お電話前に
準備して
ください

3

受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)